

評価種別 継続箇所評価

事業コード (H23-建-継-16)

適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進) 《2次改築事業》

箇所名 (由利本荘市鶴舞～松街道 (本荘道路))

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	0	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	5		
	・最小半径 < 100m	1箇所	3		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪中なし	※2次改築事業のため評価なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	15	10	
	・現道の混雑度 ≥ 1.0	4件該当	12		
	・現道の旅行速度 ≤ 30km/h	3件該当	10		
	・現道の事故率 ≥ 50件	2件該当	8		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	4			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計		15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト	なし	0		
	・ほ場整備等の他事業				
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5	
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計		15	15		
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に関連	あり	10	10	
		なし	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計		30	28		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.5以上	5	5	
		1.0以上1.5未満	3		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	
		1,000台/日以上5,000台/日未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	
	なし	0			
事業中止の影響	既投資額の損失大	5	3	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパス e t c 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計		20	18		
熟度	事業の進捗状況				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	8	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	未着手	0			
計		20	13		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H20-建-継-9)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)《2次改築事業》

箇所名 (由利本荘市 鶴舞～松街道)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	0	
	・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
	・最小半径<100m	1箇所	3		
	・最急勾配>5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪中なし	※2次改築事業のため評点なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	15	10	
	・現道の混雑度 ≥ 1.0	4件該当	12		
	・現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$	3件該当	10		
	・現道の事故率 ≥ 50 件	2件該当	8		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	4			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計		15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト	なし	0		
	・ほ場整備等の他事業				
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5	
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計		15	15		
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に関連	あり	10	10	
		なし	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計		30	28		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	5	5	
		1.0以上?1.5未満	3		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	
		1,000台/日以上?5,000台/日未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	
	なし	0			
事業中止の影響	既投資額の損失大	5			
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3	3	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパス e t c 現道拡幅	
計		20	18		
熟度	事業の進捗状況				
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	5	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10	8	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
計		20	13		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		